

茨城県衛生研究所
平成30年度評価書

令和元年9月
茨城県衛生研究所
評価委員会

【様式6】

□総合評価

評価：AA(3.5) 試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において優れたパフォーマンスを実現していると判断できる。

若手研究員が多いなか、業務の大半を占める試験検査に加えて、研究をはじめ多岐にわたる業務に精力的に取り組んでいる。学会発表や共同研究を積極的に行うなど、人材育成体制の構築、研究マネジメントのほか、計画を確実に実行し、数値目標を上回る実績をあげた努力を評価する。

一方で、将来目標の明確化や職員全体のレベル向上に向けた方策についての検討を期待する。また、技術の獲得にはある程度の時間が必要となるため、若手・中堅研究員のバランスや増員などの検討も含めて、研究員の維持・確保に継続して対応してほしい。

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究

評価：A

①二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析

研究方法論・考察などが的確で、茨城県産二枚貝による下痢症ウイルス感染症のリスク評価に資する極めて重要な研究である。下痢症ウイルス感染症の拡散・予防には、患者に対する衛生管理上の問題が重要であることを示唆するものであり、論文化を期待する。

また、今回確立した検査方法を有効活用し、今後のモニタリングへの応用を期待する。

一方で、ヒトと貝から検出されたノロウイルス遺伝子型の齟齬については、慎重な考察・解釈が必要であると思われる。貝の生態やウイルスの特性など、今後の知見の蓄積による解明が期待される。

②小児の重症呼吸器感染症に関与するウイルス遺伝子の網羅解析

小児の呼吸器感染症における重症化の要因が、遺伝子型より基礎疾患の有無や細菌の混合感染の影響が大きいことが示されたことは、重症化リスク情報の共有や治療方針の検討のうえで有用な研究結果であった。

本研究は複数の医療機関の協力で行われた貴重な共同研究であり、小児感染症学領域において臨床的な活用の重要性が極めて高い。

一方で、基礎疾患がある小児は、鼻腔・副鼻腔や咽頭に黄色ブドウ球菌や肺炎球菌が常在していることが多いため、細菌が検出された要因(保菌又は感染)の検討があると良い。また、重症度判定基準の再整理及び適切な統計学的手法により、データ再解析が必要と考えられる。

2) 試験検査

評価：A

衛生研究所業務の8割を占め、基盤業務である試験検査について、検査件数の大幅な増加にもかかわらず、遅滞なく円滑に遂行した。また、検査体制の見直しなど、資質の向上も図られている。

試験検査は県民生活の安全・安心のために重要であるため、継続して資質が向上されるよう努められたい。

3) 相談業務

評価：A

保健所等の行政機関、医療機関からの相談に対し、情報提供や指導が活発に取り組まれており評価できる。

県民から相談の多かった感染症に関しては、流行に合わせてホームページ等で確実かつ適切に情報提供が行われ、ニーズに合致した相談業務を行っていると思われる。

4) 研究成果等の活用促進

評価：AA

国際英文誌へ論文が掲載されるなど、学会誌等への成果公表や学会等での発表を精力的に行い、数値目標をはるかに上回る実績を残しており、高く評価できる。今後の継続を望みたい。

5) 外部人材育成、教育活動

評価：AA

学会発表、論文投稿などを通して研究所の実力が評価され、研修会等の依頼が増加した結果、他の行政機関職員等への知識・技術の啓発を当初の計画よりも数多く行っている。その他の業務から見ても活発に外部人材育成や教育活動を実施しており、努力が評価できる。

6) 広報・普及啓発

評価: AA

ホームページを頻繁に更新し、県民が求めている情報を素早く提供していることが、県民の意識向上を進めている。その結果、ホームページの閲覧件数がトップになるなど、県民にわかりやすい情報提供を行っていると高く評価できる。ホームページは最新情報を提供できるので、引き続き精力的な更新を希望する。
また、出前講座や研修会の講師なども数多く務めている。県民ニーズに対応する姿勢の表れと考えられ、研究所の果たすべき役割が機能していると考ええる。

ii) 業務の質的向上、効率化のために実施する方策

1) 全体マネジメント

評価: AA

県民の健康に関する安全・安心を実現するため、補助金を活用した機器整備を着実にを行い、検査体制がより充実した。また、人事異動等による実働人員の減少、試験検査業務の増加にもかかわらず、品質保証体制の整備が着実かつ適切に行われ、さらに、各部門での情報共有も実践されており、マネジメントを高く評価できる。

2) 県民ニーズの把握

評価: A

出前講座や研修会でのアンケートなど、県民ニーズの把握のために様々な取り組みを実践しており、評価できる。一方、衛生研究所の存在すら知らない県民も見られることから、ホームページなどで存在意義を積極的にアピールして、県民からの情報収集により一層の努力を期待する。

3) 他機関との連携

評価: AA

国立試験研究機関や大学と密接に連携し、高度かつ先駆的な研究を進めており、また研究員の資質向上につながっており、高く評価できる。
今後は、連携により得られた知見などを活用していくことが期待される。

4) 調査研究費の獲得

評価: A

継続して調査研究費を獲得しており評価できる。
今後、文部科学省・日本学術振興会の科研費の指定研究機関になり当該研究費を獲得するなど、特別電源所在県科学技術振興事業補助金以外への応募も期待する。

5) 内部人材育成

評価: AA

技術職員全員が年1回以上外部研修に参加し、職員の意識・能力向上が図られた。他機関との交流で得られた知見や技術等も組織内で共有しており、今後の発展が期待される。また、若手職員の大学院博士課程進学への体制構築・維持も着実に進んでおり、高く評価できる。
今後、さらなるOJTの向上、外部教育研究機関と連携し、実験室内診断精度の向上技術を確立されたい。

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
i) 県民に対して提供する業務	1) 調査研究	A	A	○質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成
	2) 試験検査	A	A	○質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成
	3) 相談業務	A	A	○質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成

○質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成

・二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析
平成30年度は314個の二枚貝及び4本の環境水を使用して137検体を作成し、その中に含まれる下痢症ウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、サボウイルス、アデノウイルスが検出された。
さらに、この研究で実施した二枚貝の調査結果と集団胃腸炎事例から検出されるウイルスとの関連性について検討し、日本食品微生物学会で口頭発表した。

・小児の重症呼吸器感染症に関するウイルス遺伝子の網羅解析
重症呼吸器感染症患者19人についてウイルス遺伝子検査を行った結果、79%(15/19人)の症例からウイルス遺伝子が検出された。検出されたウイルスはライノウイルス(HRV)(6人)が多く、次いでRSウイルス(RSV)、ヒトメタニューモウイルス、インフルエンザウイルスA型(各2人)、パラインフルエンザウイルス1型、ヒトボカウイルス、エンテロウイルス、ヒトコロナウイルスNL63(各1人)であった。
さらに、平成29年4月から平成31年1月のRSV及びHRVの遺伝子解析を実施した。RSV-Aは遺伝子型ON1、RSV-Bは遺伝子型BA9に分類され、HRVはHRV-A、B、Cが検出された。
なお、ウイルス遺伝子が検出されなかった5検体については、当所に導入された次世代シーケンサーを用いて解析することを検討している。

○質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成

(1) 試験検査の内容

○ 計画検査

- ・茨城県食品衛生監視指導計画
- ・茨城県医薬品等一斉監視指導実施要領
- ・危険ドラッグ買上検査事業実施要領 等

試験項目	件数 (H30年度実績)	衛生研究所 担当部
食肉の試験検査	120検体	細菌部
農産物漬物の試験検査	25検体	細菌部
生食用鮮魚介類の試験検査	24検体	理化学部
輸入食品の試験検査	112検体	細菌部
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	159検体	理化学部
認定小規模食鳥処理場微生物検査	314検体	細菌部
県内産魚介類の寄生虫検査	138検体	細菌部
水道水質調査事業に伴う試験検査	20検体	細菌部
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	10検体	細菌部
蚊の生息状況調査	706検体	ウイルス部
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	6回	ウイルス部
県内流通医薬品等の試験検査	30検体	ウイルス部
後発医薬品の試験検査	50検体	理化学部
医療機器の試験検査	7検体	理化学部
無承認無許可医薬品の試験検査	2検体	細菌部
家庭用品の試買試験検査	2検体	理化学部
指定薬物の試験検査	50検体	理化学部
食品の残留農薬試験検査	150検体	理化学部
遺伝子組換え食品の試験検査	10検体	理化学部
アレルギー物質の試験検査	10検体	理化学部
食品添加物の試験検査	48検体	理化学部
加工食品の放射性物質試験検査	134検体	理化学部
水道水の放射性物質試験検査	96検体	理化学部
水道水の放射性物質試験検査	180検体	理化学部

○ 行政依頼検査

- ・茨城県感染症発生動向調査事業実施要項
- ・茨城県結核予防計画
- ・茨城県食中毒事故処理要領 等

試験項目	件数 (H30年度実績)	衛生研究所 担当部
感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	24検体	細菌部
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	392検体	ウイルス部
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	依頼なし	細菌部
結核対策予防事業に伴う試験検査	252検体	ウイルス部
保健所および衛生研究所に勤務する職員のB型肝炎検査	513検体	細菌部
水戸及び土浦保健所におけるHIV即日検査	364検体	ウイルス部
犬の狂犬病検査	139検体	細菌部
化学物質に係る試験検査	108検体	ウイルス部
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	527検体	ウイルス部
レジオネラ病防止に伴う試験検査	5検体	ウイルス部
イノシシ肉の放射性物質検査	依頼なし	理化学部
	1120検体	細菌部
	732検体	ウイルス部
	依頼なし	理化学部
	44検体	細菌部
	14検体	理化学部

(2) 検査体制及び品質保証体制の整備

ii) 業務の質的向上、効率化のために実施する方策

1) 全体マネジメント

イ 品質保証体制の整備 に記載

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																														
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																													
i) 県民に対して提供する業務		供するとともに、有識者会議や医療従事者への情報提供を行った。																																															
	4) 研究成果等の活用促進	<p>AA</p> <p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○今年度も当所研究員が筆頭著者として学術誌に投稿し、掲載された。また、機関誌等への投稿、学会等での発表及びホームページに掲載することにより、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。</p> <p>【実績】学会・研修会での発表：16回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発表題目</th> <th>学会・研修会等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茨城県内における小児の重症呼吸器感染症に関するウイルス遺伝子の網羅解析について</td> <td>地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における結核菌分子疫学調査取組状況</td> <td>地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会</td> </tr> <tr> <td>農場におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について</td> <td rowspan="2">第51回茨城県公衆衛生獣医師協議会</td> </tr> <tr> <td>精神科病棟におけるヒトメタニューモウイルスが原因と推定された集団感染事例</td> </tr> <tr> <td>茨城県における梅毒の患者発生状況について</td> <td rowspan="2">第92回日本感染症学会学術講演会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における過去3年間のムンプスウイルスの検出状況について</td> </tr> <tr> <td>2016-2017年に国内で流行したムンプスウイルスの分子系統学的解析</td> <td>第59回日本臨床ウイルス学会</td> </tr> <tr> <td>豚におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について</td> <td>第46回茨城県食品衛生業務業績発表大会</td> </tr> <tr> <td>精神科病棟におけるヒトメタニューモウイルスが原因と推定された集団感染事例</td> <td>公衆衛生獣医師協議会 平成30年度全国大会</td> </tr> <tr> <td>豚におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について</td> <td>平成30年度関東・東京合同地区獣医三学会</td> </tr> <tr> <td>二枚員が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析</td> <td>第39回日本食品微生物学会学術総会</td> </tr> <tr> <td>茨城県衛生研究所における医薬品試験検査状況について</td> <td>第29回茨城県薬剤師学術大会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における梅毒の患者発生状況について</td> <td rowspan="3">茨城県職員臨床衛生検査技師会学術研修会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における結核菌分子疫学解析について</td> </tr> <tr> <td>茨城県内における小児の重症呼吸器感染症に関するウイルス遺伝子の網羅解析について</td> </tr> <tr> <td>茨城県における結核菌分子疫学解析実施状況～成果と課題～</td> <td>平成30年度保健と福祉の事例発表会</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】学会誌等への投稿：8本</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>原著論文・機関誌等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>High prevalence of hepatitis E virus infection among domestic pigs in Ibaraki Prefecture, Japan. BMC Veterinary Research. Motoya T, Umezawa M, Goto K, Doi I, Nagata N, Ikeda Y, Sakuta A, Sasaki N, Ishii K.</td> </tr> <tr> <td>Molecular Evolutionary Analyses of the RNA-Dependent RNA Polymerase Region in Norovirus Genogroup II. Frontiers in Microbiology. (共著) Ozaki K, Matsushima Y, Nagasawa K, Motoya T, Ryo A, Kuroda M, Katayama K, Kimura H.</td> </tr> <tr> <td>Descriptive Epidemiology for Mycoplasma pneumoniae Infection Using (Nursery) School Absenteeism Surveillance System, and Proposal for Countermeasures. Journal of Biosciences and Medicines. (共著) Kurita J, Nagasu N, Nagata N, Sakurai N, Ohkusa Y, Sugawara T.</td> </tr> <tr> <td>Outbreak of Human Metapneumovirus in Ibaraki, Japan and Its Descriptive Epidemiology. Health. (共著) Kurita J, Nagasu N, Nagata N, Okuno H, Sugawara T, Ohkusa Y.</td> </tr> <tr> <td>食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究：平成29年度総括・研究分担報告書及び平成27年～29年度総合研究報告書 研究協力者 山城彩花 平成30年4月</td> </tr> <tr> <td>梅毒の患者発生状況と実態調査について：茨城県医師会報 No.780 梅澤美穂 平成30年12月</td> </tr> <tr> <td>二枚員が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析：平成30年度茨城県立試験研究機関成果集 本谷匠 平成31年2月</td> </tr> <tr> <td>茨城県内流通食肉から検出されたサルモネラ属菌の薬剤耐性状況に関する調査研究：平成30年度茨城県立試験研究機関成果集 相原義之 平成31年2月</td> </tr> </tbody> </table> <p>○行政施策を科学的・技術的側面より支援できるよう積極的に調査研究に努めた。 ・調査研究「茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究」では、収集した結核菌株のVNTR情報をデータベース化し、集団感染の察知に努めた。また、NGS解析のための最適条件の検討を行った。 ・日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究開発事業における国立感染症研究所等の研究に協力することで、最新の技術を習得するとともに、国が作成する検査マニュアルの改訂等に寄与した。</p>	発表題目	学会・研修会等名	茨城県内における小児の重症呼吸器感染症に関するウイルス遺伝子の網羅解析について	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会	茨城県における結核菌分子疫学調査取組状況	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会	農場におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について	第51回茨城県公衆衛生獣医師協議会	精神科病棟におけるヒトメタニューモウイルスが原因と推定された集団感染事例	茨城県における梅毒の患者発生状況について	第92回日本感染症学会学術講演会	茨城県における過去3年間のムンプスウイルスの検出状況について	2016-2017年に国内で流行したムンプスウイルスの分子系統学的解析	第59回日本臨床ウイルス学会	豚におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について	第46回茨城県食品衛生業務業績発表大会	精神科病棟におけるヒトメタニューモウイルスが原因と推定された集団感染事例	公衆衛生獣医師協議会 平成30年度全国大会	豚におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について	平成30年度関東・東京合同地区獣医三学会	二枚員が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	第39回日本食品微生物学会学術総会	茨城県衛生研究所における医薬品試験検査状況について	第29回茨城県薬剤師学術大会	茨城県における梅毒の患者発生状況について	茨城県職員臨床衛生検査技師会学術研修会	茨城県における結核菌分子疫学解析について	茨城県内における小児の重症呼吸器感染症に関するウイルス遺伝子の網羅解析について	茨城県における結核菌分子疫学解析実施状況～成果と課題～	平成30年度保健と福祉の事例発表会	原著論文・機関誌等	High prevalence of hepatitis E virus infection among domestic pigs in Ibaraki Prefecture, Japan. BMC Veterinary Research. Motoya T, Umezawa M, Goto K, Doi I, Nagata N, Ikeda Y, Sakuta A, Sasaki N, Ishii K.	Molecular Evolutionary Analyses of the RNA-Dependent RNA Polymerase Region in Norovirus Genogroup II. Frontiers in Microbiology. (共著) Ozaki K, Matsushima Y, Nagasawa K, Motoya T, Ryo A, Kuroda M, Katayama K, Kimura H.	Descriptive Epidemiology for Mycoplasma pneumoniae Infection Using (Nursery) School Absenteeism Surveillance System, and Proposal for Countermeasures. Journal of Biosciences and Medicines. (共著) Kurita J, Nagasu N, Nagata N, Sakurai N, Ohkusa Y, Sugawara T.	Outbreak of Human Metapneumovirus in Ibaraki, Japan and Its Descriptive Epidemiology. Health. (共著) Kurita J, Nagasu N, Nagata N, Okuno H, Sugawara T, Ohkusa Y.	食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究：平成29年度総括・研究分担報告書及び平成27年～29年度総合研究報告書 研究協力者 山城彩花 平成30年4月	梅毒の患者発生状況と実態調査について：茨城県医師会報 No.780 梅澤美穂 平成30年12月	二枚員が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析：平成30年度茨城県立試験研究機関成果集 本谷匠 平成31年2月	茨城県内流通食肉から検出されたサルモネラ属菌の薬剤耐性状況に関する調査研究：平成30年度茨城県立試験研究機関成果集 相原義之 平成31年2月	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現						
発表題目	学会・研修会等名																																																
茨城県内における小児の重症呼吸器感染症に関するウイルス遺伝子の網羅解析について	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																
茨城県における結核菌分子疫学調査取組状況	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会																																																
農場におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について	第51回茨城県公衆衛生獣医師協議会																																																
精神科病棟におけるヒトメタニューモウイルスが原因と推定された集団感染事例																																																	
茨城県における梅毒の患者発生状況について	第92回日本感染症学会学術講演会																																																
茨城県における過去3年間のムンプスウイルスの検出状況について																																																	
2016-2017年に国内で流行したムンプスウイルスの分子系統学的解析	第59回日本臨床ウイルス学会																																																
豚におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について	第46回茨城県食品衛生業務業績発表大会																																																
精神科病棟におけるヒトメタニューモウイルスが原因と推定された集団感染事例	公衆衛生獣医師協議会 平成30年度全国大会																																																
豚におけるE型肝炎ウイルスの感染実態について	平成30年度関東・東京合同地区獣医三学会																																																
二枚員が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	第39回日本食品微生物学会学術総会																																																
茨城県衛生研究所における医薬品試験検査状況について	第29回茨城県薬剤師学術大会																																																
茨城県における梅毒の患者発生状況について	茨城県職員臨床衛生検査技師会学術研修会																																																
茨城県における結核菌分子疫学解析について																																																	
茨城県内における小児の重症呼吸器感染症に関するウイルス遺伝子の網羅解析について																																																	
茨城県における結核菌分子疫学解析実施状況～成果と課題～	平成30年度保健と福祉の事例発表会																																																
原著論文・機関誌等																																																	
High prevalence of hepatitis E virus infection among domestic pigs in Ibaraki Prefecture, Japan. BMC Veterinary Research. Motoya T, Umezawa M, Goto K, Doi I, Nagata N, Ikeda Y, Sakuta A, Sasaki N, Ishii K.																																																	
Molecular Evolutionary Analyses of the RNA-Dependent RNA Polymerase Region in Norovirus Genogroup II. Frontiers in Microbiology. (共著) Ozaki K, Matsushima Y, Nagasawa K, Motoya T, Ryo A, Kuroda M, Katayama K, Kimura H.																																																	
Descriptive Epidemiology for Mycoplasma pneumoniae Infection Using (Nursery) School Absenteeism Surveillance System, and Proposal for Countermeasures. Journal of Biosciences and Medicines. (共著) Kurita J, Nagasu N, Nagata N, Sakurai N, Ohkusa Y, Sugawara T.																																																	
Outbreak of Human Metapneumovirus in Ibaraki, Japan and Its Descriptive Epidemiology. Health. (共著) Kurita J, Nagasu N, Nagata N, Okuno H, Sugawara T, Ohkusa Y.																																																	
食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究：平成29年度総括・研究分担報告書及び平成27年～29年度総合研究報告書 研究協力者 山城彩花 平成30年4月																																																	
梅毒の患者発生状況と実態調査について：茨城県医師会報 No.780 梅澤美穂 平成30年12月																																																	
二枚員が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析：平成30年度茨城県立試験研究機関成果集 本谷匠 平成31年2月																																																	
茨城県内流通食肉から検出されたサルモネラ属菌の薬剤耐性状況に関する調査研究：平成30年度茨城県立試験研究機関成果集 相原義之 平成31年2月																																																	
5) 外部人材育成・教育活動	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○保健所及び医療機関等を対象に「ゆうパックによる検体送付のための研修会」等の技術的指導や、外部講師を招聘し「医学検査・行政検査の精度管理」や「マスクギャザリングによる感染症リスク」に係る研修会を開催し、専門的知識及び最新の情報を提供した。</p> <p>【実績】保健所等への専門的研修会：18回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度健康増進、がん対策、難病対策、感染症・健康危機管理関係保健所担当課長等会議</td> <td>保健所職員</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会（水戸）</td> <td>医療機関、保健所担当者</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>平成30年度感染症対策に関する保健所等新任担当者会議</td> <td>保健所職員</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>平成30年度新規採用養護教諭研修講座</td> <td>新規採用養護教諭</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>平成30年度学校保健・学校安全指導者研修会</td> <td>学校関係者</td> <td>872</td> </tr> <tr> <td>精度管理研修会</td> <td>衛生研究所職員、保健所職員</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（学校・幼稚園向け）</td> <td>幼稚園、学校担当者</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（保育所・幼保連携型認定こども園向け）</td> <td>保育所・幼保連携型認定こども園担当者</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（行政機関向け）</td> <td>行政担当者</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会（土浦）</td> <td>医療機関、保健所担当者</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>平成30年度水道水測定分析外部精度管理</td> <td>水道事業者</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>平成30年度茨城県エイズ・性感染症対策委員会</td> <td>医療機関、保健所職員</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>平成30年度茨城県感染症対策委員会</td> <td>医療機関、保健所職員</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>平成30年度茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議</td> <td>医療機関</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	研修会・講座名	対象者等	参加者数	平成30年度健康増進、がん対策、難病対策、感染症・健康危機管理関係保健所担当課長等会議	保健所職員	61	ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会（水戸）	医療機関、保健所担当者	55	平成30年度感染症対策に関する保健所等新任担当者会議	保健所職員	21	平成30年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	26	平成30年度学校保健・学校安全指導者研修会	学校関係者	872	精度管理研修会	衛生研究所職員、保健所職員	25	平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（学校・幼稚園向け）	幼稚園、学校担当者	54	平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（保育所・幼保連携型認定こども園向け）	保育所・幼保連携型認定こども園担当者	85	平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（行政機関向け）	行政担当者	61	ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会（土浦）	医療機関、保健所担当者	32	平成30年度水道水測定分析外部精度管理	水道事業者	12	平成30年度茨城県エイズ・性感染症対策委員会	医療機関、保健所職員	25	平成30年度茨城県感染症対策委員会	医療機関、保健所職員	54	平成30年度茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議	医療機関	16	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
研修会・講座名	対象者等	参加者数																																															
平成30年度健康増進、がん対策、難病対策、感染症・健康危機管理関係保健所担当課長等会議	保健所職員	61																																															
ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会（水戸）	医療機関、保健所担当者	55																																															
平成30年度感染症対策に関する保健所等新任担当者会議	保健所職員	21																																															
平成30年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	26																																															
平成30年度学校保健・学校安全指導者研修会	学校関係者	872																																															
精度管理研修会	衛生研究所職員、保健所職員	25																																															
平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（学校・幼稚園向け）	幼稚園、学校担当者	54																																															
平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（保育所・幼保連携型認定こども園向け）	保育所・幼保連携型認定こども園担当者	85																																															
平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム新規操作担当者研修会（行政機関向け）	行政担当者	61																																															
ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会（土浦）	医療機関、保健所担当者	32																																															
平成30年度水道水測定分析外部精度管理	水道事業者	12																																															
平成30年度茨城県エイズ・性感染症対策委員会	医療機関、保健所職員	25																																															
平成30年度茨城県感染症対策委員会	医療機関、保健所職員	54																																															
平成30年度茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議	医療機関	16																																															

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価				評価委員会評価																																								
	評価	計画達成の状況			評価	評価における特記事項																																							
i) 県民に対して提供する業務		平成 30 年度茨城県エイズ治療拠点病院等医療従事者に対する研修会	医療機関、保健所職員	50																																									
		平成 30 年度DOTS推進担当者会議	医療機関、保健所職員	27																																									
		平成 30 年度茨城県衛生研究所(いばらき予防医学プラザ)調査研究業績発表会・特別講演会	行政担当者、保健所職員 他	52																																									
		ゆうパックによる検体送付のための更新者研修会	医療機関、保健所担当者	24																																									
		<p>○ 研修生の受け入れでは、主に医療関係の学生を受け入れ、社会医学実習や地域保健実習に係る研修を実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生等への教育活動：11回（33名） <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生の社会医学実習</td> <td>筑波大学医学群医学類 4年</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>医学生の実践医学実習</td> <td>筑波大学医学群医学類 4年</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2017 年度課題別研修「小農の生計向上のための野菜生産技術」コースに係る見学</td> <td>2017 年度課題別研修「小農の生計向上のための野菜生産技術」コース研修員</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>筑波大学生研修</td> <td>筑波大学医学群医療科学類 4年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>VPcamp（家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ）</td> <td>北里大学獣医学部獣医学科5年</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>茨城県庁インターンシップ</td> <td>岩手大学農学部共同獣医学科 5年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専攻医研修</td> <td>日立健康管理センター 医師</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>茨城県庁インターンシップ</td> <td>星薬科大学 5年、昭和大学 5年、国際医療福祉大学 5年、日本大学 5年</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>非常勤嘱託医による研修</td> <td>筑西保健所嘱託医、古河保健所嘱託医</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医研修</td> <td>県立中央病院初期研修医(2年目)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>VPcamp（家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ）</td> <td>日本獣医生命科学大学 4年</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					研修会・講座名	対象者等	参加者数	医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6	医学生の実践医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6	2017 年度課題別研修「小農の生計向上のための野菜生産技術」コースに係る見学	2017 年度課題別研修「小農の生計向上のための野菜生産技術」コース研修員	8	筑波大学生研修	筑波大学医学群医療科学類 4年	1	VPcamp（家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ）	北里大学獣医学部獣医学科5年	2	茨城県庁インターンシップ	岩手大学農学部共同獣医学科 5年	1	専攻医研修	日立健康管理センター 医師	1	茨城県庁インターンシップ	星薬科大学 5年、昭和大学 5年、国際医療福祉大学 5年、日本大学 5年	4	非常勤嘱託医による研修	筑西保健所嘱託医、古河保健所嘱託医	2	臨床研修医研修	県立中央病院初期研修医(2年目)	1	VPcamp（家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ）	日本獣医生命科学大学 4年	1			
研修会・講座名	対象者等	参加者数																																											
医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6																																											
医学生の実践医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6																																											
2017 年度課題別研修「小農の生計向上のための野菜生産技術」コースに係る見学	2017 年度課題別研修「小農の生計向上のための野菜生産技術」コース研修員	8																																											
筑波大学生研修	筑波大学医学群医療科学類 4年	1																																											
VPcamp（家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ）	北里大学獣医学部獣医学科5年	2																																											
茨城県庁インターンシップ	岩手大学農学部共同獣医学科 5年	1																																											
専攻医研修	日立健康管理センター 医師	1																																											
茨城県庁インターンシップ	星薬科大学 5年、昭和大学 5年、国際医療福祉大学 5年、日本大学 5年	4																																											
非常勤嘱託医による研修	筑西保健所嘱託医、古河保健所嘱託医	2																																											
臨床研修医研修	県立中央病院初期研修医(2年目)	1																																											
VPcamp（家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ）	日本獣医生命科学大学 4年	1																																											
6) 広報・普及啓発	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 感染症情報センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生動向調査事業に基づき、感染症の情報を日々収集・解析し、週報及び月報としてホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・インフルエンザ流行情報を、流行期(4月及び12~3月)にホームページに毎週掲載した。 ・県内で流行がみられた風しんについて、患者発生状況及び予防方法等をホームページにより情報提供を行った。(8月~) ・蚊のモニタリング調査結果については、定期的に情報を更新し、注意喚起を行った。(8月~10月) ・県のホームページ閲覧ランキングで、1月、インフルエンザ流行情報のページが1位、感染症情報センターのページが2位となった。 <p>【実績】 ホームページ掲載公衆衛生情報:61回 (県民への広報:16回、流行情報:45回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>掲載タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(3回)</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>・コンゴ民主共和国赤道州(Equateur 州)においてエボラ出血熱が発生しました。</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>・貝毒検査について ・海外で注意が必要な感染症 ・夏は腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう ・アサキスによる食中毒に注意しましょう</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>・手足口病に気をつけましょう ・梅雨って知っていますか?~現在増加しています~</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>・コンゴ民主共和国北キブ州(North Kivu 州)においてエボラ出血熱が発生しました。 ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第1報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第2報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第3報) ・茨城県の風しん発生情報(1回)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>・お肉はよく焼こう!!カンピロバクター食中毒について ・残留農薬の試験検査について ・風しんについて ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第4報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第5報) ・茨城県の風しん発生情報(4回)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第6報) ・茨城県の風しん発生情報(3回)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>・茨城県の風しん発生情報(4回)</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>・結核は「昔の病気」ではありません! ・感染性胃腸炎に注意!! ・インフルエンザについて ・インフルエンザ流行情報(3回) ・茨城県の風しん発生情報(3回)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(5回) ・茨城県の風しん発生情報(2回)</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(4回) ・茨城県の風しん発生情報(1回)</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>・麻しん、風しんワクチンをうけましょう ・茨城県衛生研究所における医薬品試験検査状況について ・インフルエンザ流行情報(4回) ・茨城県の風しん発生情報(2回)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県民意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等や食品衛生関係者等を対象に出前講座を実施した。 ・出前講座における福祉施設等からの相談では、感染症対策マニュアルの作成に係る技術指導を行った。 ・パネルの展示では健康プラザをはじめイベント会場でも積極的に行った。 ・広報の配布資機材として、一般県民向けの分かりやすい衛生研究所の業務紹介パンフレットを活用した。 <p>【実績】 出前講座・研修会等：14回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出前講座・研修会名</th> <th>依頼者</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品添加物と残留農薬について</td> <td>水戸地域女性農業経営者ネットワーク</td> <td>水戸市</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>施設における感染症予防対策について(老人ホーム等施設長会議)</td> <td>県長寿福祉推進課</td> <td>水戸市</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table>				月	掲載タイトル	4月	・インフルエンザ流行情報(3回)	5月	・コンゴ民主共和国赤道州(Equateur 州)においてエボラ出血熱が発生しました。	6月	・貝毒検査について ・海外で注意が必要な感染症 ・夏は腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう ・アサキスによる食中毒に注意しましょう	7月	・手足口病に気をつけましょう ・梅雨って知っていますか?~現在増加しています~	8月	・コンゴ民主共和国北キブ州(North Kivu 州)においてエボラ出血熱が発生しました。 ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第1報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第2報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第3報) ・茨城県の風しん発生情報(1回)	9月	・お肉はよく焼こう!!カンピロバクター食中毒について ・残留農薬の試験検査について ・風しんについて ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第4報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第5報) ・茨城県の風しん発生情報(4回)	10月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第6報) ・茨城県の風しん発生情報(3回)	11月	・茨城県の風しん発生情報(4回)	12月	・結核は「昔の病気」ではありません! ・感染性胃腸炎に注意!! ・インフルエンザについて ・インフルエンザ流行情報(3回) ・茨城県の風しん発生情報(3回)	1月	・インフルエンザ流行情報(5回) ・茨城県の風しん発生情報(2回)	2月	・インフルエンザ流行情報(4回) ・茨城県の風しん発生情報(1回)	3月	・麻しん、風しんワクチンをうけましょう ・茨城県衛生研究所における医薬品試験検査状況について ・インフルエンザ流行情報(4回) ・茨城県の風しん発生情報(2回)	出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加人数	食品添加物と残留農薬について	水戸地域女性農業経営者ネットワーク	水戸市	24	施設における感染症予防対策について(老人ホーム等施設長会議)	県長寿福祉推進課	水戸市	210	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
月	掲載タイトル																																												
4月	・インフルエンザ流行情報(3回)																																												
5月	・コンゴ民主共和国赤道州(Equateur 州)においてエボラ出血熱が発生しました。																																												
6月	・貝毒検査について ・海外で注意が必要な感染症 ・夏は腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう ・アサキスによる食中毒に注意しましょう																																												
7月	・手足口病に気をつけましょう ・梅雨って知っていますか?~現在増加しています~																																												
8月	・コンゴ民主共和国北キブ州(North Kivu 州)においてエボラ出血熱が発生しました。 ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第1報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第2報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第3報) ・茨城県の風しん発生情報(1回)																																												
9月	・お肉はよく焼こう!!カンピロバクター食中毒について ・残留農薬の試験検査について ・風しんについて ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第4報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第5報) ・茨城県の風しん発生情報(4回)																																												
10月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第6報) ・茨城県の風しん発生情報(3回)																																												
11月	・茨城県の風しん発生情報(4回)																																												
12月	・結核は「昔の病気」ではありません! ・感染性胃腸炎に注意!! ・インフルエンザについて ・インフルエンザ流行情報(3回) ・茨城県の風しん発生情報(3回)																																												
1月	・インフルエンザ流行情報(5回) ・茨城県の風しん発生情報(2回)																																												
2月	・インフルエンザ流行情報(4回) ・茨城県の風しん発生情報(1回)																																												
3月	・麻しん、風しんワクチンをうけましょう ・茨城県衛生研究所における医薬品試験検査状況について ・インフルエンザ流行情報(4回) ・茨城県の風しん発生情報(2回)																																												
出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加人数																																										
食品添加物と残留農薬について	水戸地域女性農業経営者ネットワーク	水戸市	24																																										
施設における感染症予防対策について(老人ホーム等施設長会議)	県長寿福祉推進課	水戸市	210																																										

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価				評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況			評価	評価における特記事項
i) 県民に対して提供する業務		施設における感染症予防対策について（介護サービス施設・事業所等管理者研修会）	県長寿福祉推進課	水戸市	857	
		社会福祉施設等の感染症予防対策	つくばみらい市介護福祉課	つくばみらい市	21	
		施設における感染症予防対策について（介護サービス施設・事業所等管理者研修会）	県長寿福祉推進課	水戸市	985	
		社会福祉施設における感染症予防対策	特別養護老人ホーム 土浦晴山苑	土浦市	11	
		社会福祉施設等の感染症予防対策	内原同仁会子どもセンター 内原深敬寮	水戸市	18	
		感染症の基礎と予防方法について	那珂市社会福祉協議会	那珂市	11	
		食中毒と予防方法について	(公財)核物質管理センター 東海保障措置センター	東海村	45	
		食中毒と予防方法について	水戸市立三の丸小学校	水戸市	30	
		感染症の基礎と予防方法	ひたちなか市教育委員会事務局 青少年課	ひたちなか市	40	
		食中毒と予防方法について	(福)茨城県社会福祉協議会	水戸市	150	
		感染症の基礎と予防方法について	フルヤ金属	筑西市	34	
		感染症の基礎と予防方法について	常陸大宮市栄養士連絡協議会	常陸大宮市	11	
		・イベント等でのパネル展示：延べ18テーマ				
		タイトル		展示場所・イベント等		
		貝毒検査について		健康プラザ		
		海外で注意が必要な感染症				
		アニサキスによる食中毒に注意しましょう				
		手足口病に気をつけましょう				
		お肉はよく焼こう!!カンピロバクター食中毒について				
		残留農薬の試験検査について				
		風しんが流行しています！				
		結核は「昔の病気」ではありません！				
		感染性胃腸炎に注意！！				
		インフルエンザについて				
		麻しん、風しんワクチンをうけましょう		県民情報センター 県政広報コーナー2 (県庁)		
		茨城県衛生研究所における医薬品試験検査状況について				
		茨城県衛生研究所の概要				
		食品に潜む身近な寄生虫…アニサキスって？				
		食品中のアレルギー検査について				
		E型肝炎ウイルスについて		いばらきのくすり展 (イオンモールつくば)		
		茨城県衛生研究所の概要				
		知っていますか？ 薬剤耐性菌のこと (配布:衛生研究所業務紹介パンフレット)				

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価																																													
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項																																												
ii) 業務の質的向上・効率化のため に実施する方策	1) 全体マネジメント	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>ア 検査機器の整備 ○更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。 ・次世代シーケンサー、ガスクロマトグラフ質量分析装置、DNA濃度測定装置、デジタル比色計等</p> <p>イ 品質保証体制の整備 (ア) 感染症法に係る検査体制の整備 ・感染症法に係る病原体検査の信頼性確保のための内部監査を受けた。 (イ) 食品GLPに係る検査体制の整備 ・標準作業書（電子はかり、機器の管理、加工食品の放射性物質、食品添加物（指定添加物安息香酸））を作成し、業務に反映するとともに、試験検査体制について関係法令等に基づく定期外部監査を受けた。 (ウ) 医薬品PIC/Sに係る体制の整備 ・試験検査 SOP（オルメサルタンメドキシミル錠定量試験、クロビドグレル硫酸塩錠定量試験、タクロリムスカプセル定量試験、アサコール錠定量試験、メサラジン腸溶錠定量試験、メサラジン顆粒定量試験）の追加制定をした。</p> <p>ウ 職員間における情報共有及び所内での定期的な進捗管理 ・毎月開催している所内部長会議において情報を共有し、業務等の進捗状況について確認した。 ・各研究員に対しては、各部において情報を共有し、業務等の進捗状況について確認した。</p> <p>エ 機関評価委員会及び調査研究・企画評価委員会による適正な評価 ・機関評価委員会（7/27実施） ・調査研究企画・評価委員会（7/27実施） 調査研究では、完了報告1題、中間報告1題及び事前報告2題について評価を受け、研究成果の普及や調査研究事業計画の見直し等に反映させた。</p>	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																																												
	2) 県民ニーズの把握	A	<p>○質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成</p> <p>・会議や研修会等の場を活用して、保健所及び関係機関と意見交換会を行い、年度計画や業務の進め方、食中毒・苦情対応の実態等を把握した。 ・いばらき予防医学プラザ（健康プラザ、水戸保健所、精神保健福祉センター）による合同の調査研究業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と県民ニーズの把握充実に努めた。 ・出前講座や研修会では、アンケート調査を実施し県民ニーズの把握に努めた。 ・県ホームページ閲覧ランキング1位になるなど、県民ニーズの高い感染症関連ホームページの更新に努めた。</p> <p>【実績】 ・意見交換会の実施：8回 ・食品衛生担当者会議 ・食品衛生担当者研修会 ・薬事担当者会議 ・感染症等関係保健所担当課長等会議 ・感染症対策保健所等新任担当者会議 ・衛生課長等会議生活衛生部会 ・衛生課長等会議業務部会 ・調査研究業績発表会</p> <p>・出前講座・研修会等：14回 （詳細は、上記6)広報・普及啓発（2)県民意識の醸成と同じ。）</p>	A	○質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成																																												
	3) 他機関との連携	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>調査研究業務の活性化及び試験検査の突発的な対応等に備えた体制の構築・強化に努めた。</p> <p>○ 調査研究に係る研究機関等との連携 国立感染症研究所感染症疫学センター等との共同研究5題、研究協力7題を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究区分</th> <th>研究テーマ(研究代表者等)</th> <th>連携機関</th> <th>期間(年度)</th> <th>担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">共同研究</td> <td>小児の重症呼吸器感染症に關するウイルス遺伝子の網羅解析（衛生研究所 齋藤葵）</td> <td>国立感染症研究所感染症疫学センター 県立こども病院 筑波大学附属病院 日立総合病院 筑波メディカルセンター病院 土浦協同病院</td> <td>H28～H30</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地方包括的な感染症対策（衛生研究所 永田紀子）</td> <td>県立医療大学医学科学センター（桜井直美）</td> <td>H29～H31</td> <td>企画情報部</td> </tr> <tr> <td>病原性ウイルスのプロテオミクス解析（衛生研究所 後藤慶子）</td> <td>横浜市立大学医学部微生物学（梁 明秀）</td> <td>H29～H32</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>成人呼吸器疾患における原因微生物の同定に關する研究（衛生研究所 本谷匠、後藤慶子）</td> <td>杏林大学医学部呼吸器内科（血谷健）</td> <td>H30～H31</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に關する研究（衛生研究所 後藤慶子）</td> <td>群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）</td> <td>H30～H34</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">研究協力</td> <td>迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究（黒田誠）木村班</td> <td rowspan="4">国立感染症研究所 感染症疫学センター</td> <td>H28～H30</td> <td>企画情報部 ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究（黒田誠）大石班</td> <td>H28～H30</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>動物由来感染症のリスク分析に關する研究（井上智）</td> <td>H28～H30</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に關する研究（木村博一）</td> <td>H29～H31</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に關する研究（木村博一）村上班</td> <td></td> <td>H29～H31</td> <td>細菌部</td> </tr> </tbody> </table>	研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部	共同研究	小児の重症呼吸器感染症に關するウイルス遺伝子の網羅解析（衛生研究所 齋藤葵）	国立感染症研究所感染症疫学センター 県立こども病院 筑波大学附属病院 日立総合病院 筑波メディカルセンター病院 土浦協同病院	H28～H30	ウイルス部	連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地方包括的な感染症対策（衛生研究所 永田紀子）	県立医療大学医学科学センター（桜井直美）	H29～H31	企画情報部	病原性ウイルスのプロテオミクス解析（衛生研究所 後藤慶子）	横浜市立大学医学部微生物学（梁 明秀）	H29～H32	ウイルス部	成人呼吸器疾患における原因微生物の同定に關する研究（衛生研究所 本谷匠、後藤慶子）	杏林大学医学部呼吸器内科（血谷健）	H30～H31	ウイルス部	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に關する研究（衛生研究所 後藤慶子）	群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）	H30～H34	ウイルス部	研究協力	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究（黒田誠）木村班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	H28～H30	企画情報部 ウイルス部	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究（黒田誠）大石班	H28～H30	細菌部	動物由来感染症のリスク分析に關する研究（井上智）	H28～H30	ウイルス部	下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に關する研究（木村博一）	H29～H31	ウイルス部		下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に關する研究（木村博一）村上班		H29～H31	細菌部	AA
研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部																																													
共同研究	小児の重症呼吸器感染症に關するウイルス遺伝子の網羅解析（衛生研究所 齋藤葵）	国立感染症研究所感染症疫学センター 県立こども病院 筑波大学附属病院 日立総合病院 筑波メディカルセンター病院 土浦協同病院	H28～H30	ウイルス部																																													
	連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地方包括的な感染症対策（衛生研究所 永田紀子）	県立医療大学医学科学センター（桜井直美）	H29～H31	企画情報部																																													
	病原性ウイルスのプロテオミクス解析（衛生研究所 後藤慶子）	横浜市立大学医学部微生物学（梁 明秀）	H29～H32	ウイルス部																																													
	成人呼吸器疾患における原因微生物の同定に關する研究（衛生研究所 本谷匠、後藤慶子）	杏林大学医学部呼吸器内科（血谷健）	H30～H31	ウイルス部																																													
	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に關する研究（衛生研究所 後藤慶子）	群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）	H30～H34	ウイルス部																																													
研究協力	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究（黒田誠）木村班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	H28～H30	企画情報部 ウイルス部																																													
	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究（黒田誠）大石班		H28～H30	細菌部																																													
	動物由来感染症のリスク分析に關する研究（井上智）		H28～H30	ウイルス部																																													
	下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に關する研究（木村博一）		H29～H31	ウイルス部																																													
	下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に關する研究（木村博一）村上班		H29～H31	細菌部																																													

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価				評価委員会評価									
	評価	計画達成の状況			評価	評価における特記事項								
ii) 業務の質的向上・効率化のため		<table border="1"> <tr> <td>食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究(鈴木淳)</td> <td>東京都健康安全研究センター</td> <td>H30～H32</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(大石和徳)</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第三部</td> <td>H30～H32</td> <td>ウイルス部</td> </tr> </table>	食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究(鈴木淳)	東京都健康安全研究センター	H30～H32	細菌部	ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(大石和徳)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	H30～H32	ウイルス部				
	食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究(鈴木淳)	東京都健康安全研究センター	H30～H32	細菌部										
ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(大石和徳)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	H30～H32	ウイルス部											
		<p>○ 地方衛生研究所間の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康危機発生時相互応援協定による窓口担当者の確認、専門家リストを作成した。 地方衛生研究所全国協議会各研究部会(公衆衛生情報研究部会(11/30)、ウイルス研究部会(9/27～28)、細菌研究部会(2/14～15)、理化学部会(2/18))に参加した。 各自治体からの照会、アンケート調査等に協力した。 <p>○ 県内の県立試験研究機関等との連携</p> <p>健康プラザ、水戸保健所及び精神保健福祉センターと合同で調査研究業績発表会を開催(2/28)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康プラザ 2題 水戸保健所 2題 精神保健福祉センター 1題 衛生研究所 6題 												
4) 調査研究費の獲得	A	<p>○ 質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成</p> <p>3調査研究事業について、茨城県調査研究企画・評価委員会の意見をいただいて研究内容の拡充・見直しを行い、事業を継続するとともに、新たに機器整備事業の外部資金(特別電源所在県科学技術振興事業補助金)を獲得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験研究事業 3事業 機器整備事業 1事業 		A	○ 質・量の両面において概ね平成30年度計画を達成									
5) 内部人材育成	AA	<p>○ 質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 研修・交流機会の確保 年1回以上、技術職員全員が計画的に外部の研修に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、一層の資質向上に努めた。 (主な研修会) ○ 技術研修 国立保健医療科学院短期研修(ウイルス研修)、希少感染症診断技術研修会、次世代シーケンサー解析、薬剤耐性菌検査、包装・運搬講習会、指定薬物分析研修会議 等 ○ 学会 日本感染症学会、日本公衆衛生学会、日本食品微生物学会、日本ウイルス学会、日本食品衛生学会、日本薬学会、日本分析化学会分会、日本結核病学会、日本環境感染症学会、日本臨床微生物学会 等 ○ 地方衛生研究所全国協議会 公衆衛生情報研究協議会、全国衛生化学技術協議会、全国衛生微生物技術協議会 等</p> <p>(2) 修学機会の確保 平成29年度より、大学院後期博士課程に職員を1名在学させている。(継続)</p> <p>(3) 所内研修 所内各部署で内部研修を実施し、研鑽できる環境整備に努めるとともに、若手研究員に対しては、確実に業務を遂行できるよう専属のトレーナーを配置し、計画検査や行政依頼検査に先立ち、年間を通じた実務研修(0JT)を実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部専門家を招聘した研修会 2回 <ul style="list-style-type: none"> ・「医学検査・行政検査の精度管理について」 群馬パース大学大学院保健科学研究科 木村博一 先生 ・「東京2020大会における感染症対策」 防衛医科大学校防衛医学研究センター 加来浩器 先生 ○ 研究者倫理に関する研修会等 1回 <ul style="list-style-type: none"> ・新任者対象内部伝達講習 ○ 所内調査研究業績発表会 1回(演題数:11) <p>(4) 精度管理の実施及び参加 (結果はすべて適合) (主な外部精度管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 インフルエンザウイルス 5検体、麻疹・風疹ウイルス 8検体、腸管出血性大腸菌 3検体 ○ 地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理(健康食品) 1検体 ○ (一財)食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査(大腸菌、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、食品添加物、特定原材料) 7検体 ○ 厚生労働科学研究(新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究」 腸管出血性大腸菌 4検体 ○ 平成30年度厚労科研費「国内のサーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」分担研究「抗酸菌型別分析における制度保証」 結核菌 5検体 <p>○ 内部精度管理は、計画検査や行政依頼検査に先立ち、随時実施した。</p>		AA	○ 質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現									